

One MIZUHO

未来へ。お客さまとともに

日本、そして、
アジアと世界の発展に貢献し、
お客さまから最も信頼される、
グローバルで開かれた
総合金融グループを目指します。



中期経営計画 『進化する“One MIZUHO”～総合金融 コンサルティンググループを目指して～』

中期経営計画『進化する“One MIZUHO”～総合金融コンサルティンググループを目指して～』は、スタートから1年半が経過いたしました。この計画では、One MIZUHO戦略をさらに進化させ、お客さまにしっかりと寄り添い、課題解決へと導くベストパートナーとなることを目指しております。

計画2年目となる今年度は、One MIZUHO戦略の“加速”として、カンパニー間の連携・人的配置の最適化などのカンパニー制運営の高度化、注力分野へのメリハリの効いた経営資源の再配分、強靱な財務体質の確立、次期システム移行に向けた取り組みなどを着実に進めております。

取締役
執行役社長 グループCEO 佐藤 康博

「総合金融コンサルティンググループ」の実現に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

2017年度上期決算 ～年度計画達成に向け進捗～

2017年度上期の業績につきましては、マイナス金利政策の継続で厳しい事業環境が続くなか、顧客部門・市場部門において前年度から業務粗利益が減少しましたが、与信関係費用の戻り益や政策保有株式の売却推進により、親会社株主に帰属する中間純利益は3,166億円となり、年度計画5,500億円に対し57%の進捗となっております。

また、自己資本につきましては、普通株式等Tier1比率*は9.56%となりました。

こうした業績を踏まえ、2017年度中間配当は当初予想通り3円75銭といたしました。

*完全施行ベース、その他有価証券評価差額金を除きます

今後に向けて

金融機関を取り巻く事業環境は厳しい状況が継続するとともに、大きな構造変化が予想されています。このような環境のなか、10年後を見据えたグループの持続的成長と将来の競争優位性確保に向けて、抜本的構造改革に取り組んでまいります。圧倒的なテクノロジーの進展をオープンイノベーションの考えのもとで活用し、金融の枠を超えた他企業との協働による新たなビジネス機会の創出も含めたトップライン収益の増強を図るとともに、コスト競争力の強化および生産性の向上に取り組むことで、One MIZUHO戦略のさらなる進化を目指してまいります。

また、お客さまの利益に真に適う商品・サービスの提供を一層徹底し、「総合金融コンサルティンググループ」の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2017年12月